

平成19年度 学校事務の共同実施に関するアンケート結果

H19.11 .末 島根県公立小中学校学校事務職員研究会 研究部

1 アンケート内容

- 別紙(本資料の末尾に添付)の通り
- 平成19年11月7日(水)松江市で開催の県大会にて配布。

2 県大会参加状況

- 県内会員参加者237名(73.8%)
- その他4名(地教委2名、県外1名、県内会員外1名(期限付))

3 集計状況

- 回収数・・・116(未回答欄があるため、合計が一致しない場合有)

回答者数・回答者率

職名	女	男	計(a)	回答者 職名割合
事務リーダー	15	8	23	19.8%
主幹	11	4	15	12.9%
事務主幹	33	3	36	31.0%
主任	12	2	14	12.1%
主任主事	2	1	3	2.6%
主事	11	3	14	12.1%
主事(期限付)	10	1	11	9.5%
計	94	22	116	100.0%

回答者 経験年数別人数

経験年数	女	男	計
31年～	30	11	41
26～30年	22	5	27
21～25年	6		6
16～20年	7	1	8
11～15年	3	2	5
6～10年	4		4
2～5年	14	1	15
～1年	4	2	6
計	90	22	112

回答者 学校規模一覧

職名	小学校					小計	中学校					中計	小中 合計
	～50人	051～ 100人	101～ 200人	201～ 300人	301人 ～		～50人	051～ 100人	101～ 200人	201～ 300人	301人 ～		
事務リーダー	4	5	2	2	5	18	1	2	2			5	23
主幹	3	3	1	4	1	12			1	2		3	15
事務主幹	8	7	5	2	5	27	1	2	2		3	8	35
主任	2	4	1	2	1	10	1	1			1	3	13
主任主事		2				2							2
主事	5	2	2		2	11		2		1		3	14
主事(期限付)	2	3	1	1		7		1		1		2	9
計	24	26	12	11	14	87	3	8	5	4	4	24	111
割合	27.6%	29.9%	13.8%	12.6%	16.1%	100.0%	12.5%	33.3%	20.8%	16.7%	16.7%	100.0%	

現在の教育改革について理解していますか。

職名	かなり理解	ほぼ理解	少し理解	よく分からない	計
事務リーダー		6	15	2	23
主幹	2	3	9	1	15
事務主幹	1	6	24	5	36
主任			9	5	14
主任主事			2	1	3
主事			6	8	14
主事(期限付)		1	7	3	11
計	3	16	72	25	116
割合	2.6%	13.8%	62.1%	21.6%	100.0%

『学校事務の共同実施』という考え方を理解していますか。

職名	かなり理解	ほぼ理解	少し理解	よく分からない	計
事務リーダー	2	11	9	1	23
主幹	4	5	6		15
事務主幹	4	14	17	1	36
主任		4	9	1	14
主任主事		1	2		3
主事		4	8	2	14
主事(期限付)		4	4	3	11
計	10	43	55	8	116
割合	8.6%	37.1%	47.4%	6.9%	100.0%

『学校事務の共同実施』が学校の事務部門強化や教育力向上に有効であると思いますか。

職名	そう思う	思わない	どちらとも言えない	分からない	計
事務リーダー	15	2	6		23
主幹	10		5		15
事務主幹	23	1	11	1	36
主任	9	1	4		14
主任主事	3				3
主事	11			3	14
主事(期限付)	5		4		9
計	76	4	30	4	114
割合	66.7%	3.5%	26.3%	3.5%	100.0%

事務グループや事務リーダーを『学校事務の共同実施』のグループやリーダーと考えることをどう思いますか。

職名	賛成	反対	どちらとも言えない	分からない	計
事務リーダー	7	3	13		23
主幹	7	1	6	1	15
事務主幹	21	1	11	2	35
主任	8	1	4	1	14
主任主事	3				3
主事	7		6	1	14
主事(期限付)	8	1	2		11
計	61	7	42	5	115
割合	53.0%	6.1%	36.5%	4.3%	100.0%

平成19年度 県大会後のアンケート問7の記述

H19.11 末 県事研研究部

回 答
町の事務グループで活動を開始し、共同実施についても協議中である。
世の中の流れが共同実施へと向いている中、そのシステムを活用しながら、学校現場で事務職が何ができるか、これからも考える必要を感じた。
共同実施 2年目
できる共同実施と、かなり不可能な共同実施のあり方がわかりました。
わからないことを一つずつ教えていただけるので、とても助かっている。自分が成長している。
共同実施の取り組みについて、町全体で取り組み、事務の平準化を主な目的に、取り組んでいる。
昨年、今年と研究部の話を伺って、必要性を強く感じている。
共同実施（指定を受けていない）を行いつつある。
中学校区で共同実施がはじまり、当事者となった。なんとか動き出してほっとしているが、課題は多い。
共同実施が実施され1年目であるので、まだ明確な方策はないが、隣の学校と事務処理チェックをしている。
少しずつではあるが、事務の共同実施が理解されはじめていると感じる。
少しずつ理解できてきて、本町でも組織をたちあげつつあります。
去年より共同実施が必要だと思うようになった。
共同実施の必要性が高まった。
自分が勤務している学校だけでなく、町内の他の学校についても自分の視野の中に入れるようになったこと
わからないことや、どうかと思う事を事務リーダーにTELにて聞くことで次のステップ（共同実施）を行うことができるようになった
意識の新陳代謝
共同実施が始まりました
教育委員会へ情報を提供することで、共同実施に向け積極的な動きをとってもらえるようになってきている
共同実施を身近に感じるようになった
昨年、先進地の方の講演を聞いたときは、何のことかなかなか理解できなかったが、今年度になり、たびたびの研修により言葉になじむようになってきた。

記述分類

職名	変化あり	その他	計
事務リーダー	1	1	2
主幹	4	2	6
事務主幹	5		5
主任	2		2
主任主事	2	1	3
主事	4		4
主事（期限付）	3	1	4
計	21	5	26

【留意点】

- 今年度は、大会参加者からだけ回収を行った。そのため、昨年度に比べてサンプル数がかなり少なくなったため、クロス集計は行っていない。
- 研究部員は当アンケートに回答を行っていない。
- 問7の記述については、26名の回答があり、その内21名分を掲載している。5名分については、「設問の「変化があったか」という設問の回答に当たらないと思われたため掲載していない。

